

岡道男先生著作目録

I 著 書

- 1979年 5月 『ギリシア・ローマの神と人間』（中村善也・松本仁助と共編）東海大学出版会。収載論文「ウェルギリウスの英雄像—トウルヌスの死—」
- 1988年11月 『ホメロスにおける伝統の継承と創造』創文社
- 1991年 5月 『ギリシア文学を学ぶ人のために』（松本仁助・中務哲郎と共編）世界思想社
- 1992年 7月 『ラテン文学を学ぶ人のために』（松本仁助・中務哲郎と共編）世界思想社
- 1993年 6月 『世界文学史「ローマ篇」』（共著）講談社「世界文学全集別巻」
- 1995年 4月 『ギリシア悲劇とラテン文学』岩波書店

II 論 文

- 1959年 3月 「英雄伝説として見たヘーラクレスのἄθλοιの問題—古代近東文学との関連において—」『西洋古典学研究』7
- 1962年12月 「ゲーテの『ナウジカア』断片—『オデュッセイア』との関連において—」同志社大学「人文学」63
- 1963年 2月 「『詩人』の起源—ラブソードスについて—」同志社大学法学部一般教養研究会「研究」1
- 1964年 2月 「ゲーテの『アキレーイス』—『イーリアス』との関連において—」同志社大学「人文学」69
- 1964年11月 「『オデュッセイア』における弓競技の問題」同志社大学「人文学」78
- 1965年 2月 「『オデュッセイア』におけるὀρσοθύρη—ホメーロス研究における考古学と文献学の問題—」同志社大学法学部一般教養研究会「研究」3
- 1965年 3月 「『オデュッセイア』におけるテーレマコス」『西洋古典学研究』13

- 1967年 2月 「『ニーベルンゲンの歌』におけるジーフリトとプリュンヒルト—素材の精神について—」同志社大学法学部一般教養研究会「研究」5
- 1967年 3月 「『ニーベルンゲンの歌』におけるジーフリトの死—モチーフの分析—」同志社大学「人文学」94
- 1968年 6月 "Achilleus in der Ilias" *Annuario* 5, Istituto Giaponese di Cultura
- 1969年 3月 「パトロクロスの死」 「西洋古典学研究」17
- 1970年 "Die Ilias und die Heike-monogatari—Über die Entstehung eines 'Großepos'—" *Japan Science Review, Humanistic Studies* 21
- 1974年 3月 「IliasとAchilleusの怒り」 「西洋古典学研究」22
- 1976年 3月 「ホメロスと叙事詩の環」 「京都大学文学部研究紀要」16
- 1978年 3月 「古代叙事詩の序歌—『アエネイス』について—」 「西洋古典学研究」26
- 1980年 3月 「ホメロスのformulaと『独創性』の問題」 「京都産業大学国際言語科学研究所所報」I-2。月刊「言語」大修館（1980年12月）に再録
- 1981年 6月 「ホメロスの比喩の言語」 「京都産業大学国際言語科学研究所所報」II-2
- 1981年 "Telemachos' Vater" *Gnomosyne. Festschrift für Walter Marg zum 70. Geburtstag*. München
- 1982年 3月 「ホラティウスc.3.4の『統一性』」 「古典古代における伝統の継承と革新」（昭和56年度科研費研究成果報告書）
- 1984年 3月 「プロペルティウスと神話—2.14; 2.15の解釈をめぐって—」 「ギリシア・ローマ神話の形成と変質」（昭和58年度科研費研究成果報告書）
- 1984年 「キケロの『国家』論—その指導者像（2.51）をめぐって—」 「法制史研究」34
- 1986年 7月 「アンティゴネとクレオン」 「古代文化」38-7
- 1988年 3月 「ホメロスの独創性—『イリアス』と『城市を滅ぼすアキレウス』—」 「西洋古典学研究」36
- 1988年 "NOX MIHI CANDIDA. PROPERT. 2,15 AND CATULL. 68" *Filologia e Forme Letterarie. Studi Offerti a Francesco Della Corte III*. Urbino

- 1990年 "Achill, der Zerstörer der Stadt (<ptoliorthos>)—eine Neuerung des Iliasdichters" *Antike und Abendland* XXXVI
- 1990年 6月 「『オイディプース王』解説」岩波書店「ギリシア悲劇全集」3
- 1991年 1月 「『ヒケティデス』解説」岩波書店「ギリシア悲劇全集」2
- 1992年 3月 「ヘシオドスの神話と叙述技法—ガイア、テュポエウス、ティタノマキア、ムーサイ—」 「ギリシア・ローマ神話の宗教性と文芸性の研究」 (平成3年度科研費研究成果報告書)
- 1992年 6月 「ソポクレスについて—人間・神・運命—」岩波書店「ギリシア悲劇全集別巻」
- 1995年10月 「古代ギリシアの『面』」 「武庫川女子大学生生活美学研究所紀要」5
- 1997年 4月 「キケロー『国家について』」 「言葉」1
- 1999年 7月 「『オイディプース王』716 (ἐν)、730 (πρός) に関する一考察」 「西洋古典論集」16
- 2000年 3月 「『オイディプース王』再考」 「西洋古典学研究」48
- 2000年 3月 「古代ギリシア人の人間観」姫路獨協大学一般教養部「人間学研究」3

Ⅲ 翻 訳

- 1960年 5月 エウリピデス『狂えるヘラクレス』人文書院「ギリシア悲劇全集」3
- 1965年 1月 エウリピデス『フェニキアの女たち』筑摩書房「世界古典文学全集」9
- 1968年12月 マールクス・キケロー『国家について』(一)「同志社法学」108
- 1969年 1月 マールクス・キケロー『国家について』(二)「同志社法学」109
- 1973年11月 A. ボナール『ギリシア文明史Ⅰ』(田中千春と共訳) 人文書院
- 1975年 3月 A. ボナール『ギリシア文明史Ⅱ』(田中千春と共訳) 人文書院
- 1975年 5月 A. ボナール『ギリシア文明史Ⅲ』(田中千春と共訳) 人文書院
- 1978年 5月 アイスキュロス『縛られたプロメテウス』講談社「世界文学全集」2
- テルンティウス『ボルミオ』講談社「世界文学全集」2

- 1982年 6月 アポロニオス『アルゴナウティカ』講談社「世界文学全集」1。
講談社文芸文庫（1997年 8月）
- 1985年 5月 アリストテレース『詩学』（松本仁助と共訳）世界思想社
- 1990年 6月 ソポクレーズ『オイディプス王』岩波書店「ギリシア悲劇全集」3
- 1991年 1月 アイスキュロス『ヒケティデス—嘆願する女たち—』岩波書店
「ギリシア悲劇全集」3
- 1991年 9月 J.J. バッハオーフェン『母権論 1』（河上倫逸と共監訳）みす
ず書房
- 1993年 7月 J.J. バッハオーフェン『母権論 2』（河上倫逸と共監訳）みす
ず書房
- 1995年 2月 J.J. バッハオーフェン『母権論 3』（河上倫逸と共監訳）みす
ず書房
- 1997年 1月 アリストテレース『詩学』（松本仁助と共訳）・ホラーティウ
ス『詩論』岩波文庫
- 1995年 5月 キケロー『国家について・法律について』岩波書店「キケロー
選集」8

IV エッセイ

- 1957年10月 「ことばの非論理性」「架橋」2
- 1958年 7月 「英雄の怒り—英雄叙事詩における伝統と創造—」「架橋」3
- 1960年12月 "Japan entdeckt Europa—Die klassische Philologie als Brücke
des Verständnisses" Stuttgarter Zeitung(Nisuke Matsumotoと共
同執筆)
- 1971年10月 「古代ギリシャの吟遊詩人」「伝統と現代」11
- 1972年 2月 「神話—曖昧な日本の神と人間、絶対的なギリシャの神の座」
「エポック」1972-2
- 1972年 4月～1973年 3月 「ギリシア・ラテン語あらかると」「英語研究」
研究社（12回連載）「Labyrinth『迷宮』について」「『海』
について」「植物の名について」「『時制』について」「翼を
もつ言葉」「Jinxについて」「Simileについて」「Amazonにつ
いて」「Barbarianについて」「神々の言葉」「黄金時代」「韻

律について」

- 1974年 1月 「ギリシア神話について」 「現代英語教育」 研究社
- 1975年 2月 「プラトンにおけるホメロスの引用」 岩波書店「プラトン全集」 10 月報
- 1978年11月 「ぶどう酒色の海」 「地中海学会月報」 14
- 1980年12月 「竖琴と笛」 「日本ギリシャ協会会報」 15
- 1982年 7月 「セイレンの歌とオデュッセウス」 Report Kumagai 65。『地中海文化の旅 (1)』 河出文庫 (1990年 6月) に再録
- 1984年 5月 「ギリシア悲劇の味わい方」 京都演劇教室「ばあとなあ」 15
- 1993年 3月 「現世の制限超えダイナミックに変化 (ギリシャ・ラテン文化)」 「無限大」 93 「特集 幸福の条件」 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 1993年 5月 「随想『20年目』」 「日本ギリシャ協会20年のあゆみ」
- 1994年10月 「老いの関に立つ」 京大以文会「以文」 37
- 1998年 6月 「真実のことばと偽りのことば—古代ギリシアの場合—」 吉田金彦編『ことばから人間を』 昭和堂
- 1999年 7月 「虐待される日本語」 姫路獨協大学付属図書館報「さぎそう」 17
- 1999年 9月 「『カルネアデースの板』とキケロー」 岩波書店「図書」 605
- 2000年 7月 「トロイア戦争と《叙事詩の環》」 週刊朝日百科「世界の文学」 51

V 創 作

- 1973年11月 「新プルターク英雄伝 デモステネス」 「歴史と人物」 3-11

VI 口頭発表

- 1958年11月 「英雄伝説として見たヘーラクレースのἀθλοὶの問題」 日本西洋古典学会第9回大会
- 1963年11月 「ゲーテの『アキレーイス』」 日本独文学会京都支部会
- 1968年 6月 「パトロクロスの死」 日本西洋古典学会第19回大会
- 1979年 6月 「ホメロスのformulaと『独創性』の問題」 日本印欧言語学研究者専門会議

- 1980年 6月 「ホメロスにおける比喩の言語」 第2回日本印欧言語学研究者専門会議
- 1983年10月 「キケロの国家論」 法制史学会第31回研究大会
- 1985年 5月 「西洋古典と中村善也氏」 中村善也教授追悼会、於、京都府立大学
- 1985年10月 「ギリシア悲劇とアリストテレスの『詩学』」 同志社大学英文学会
- 1986年 6月 「古代ギリシアに『博物館』はあったか—京大文学部博物館竣工に際して—」 於、京都大学文学部
- 1988年 3月 「田中秀央先生と日本の西洋古典学」 京都文化研究会、於、京都大学文学部博物館
- 1991年 6月 「ギリシアの知の『宝庫』」 第15回地中海学会大会。Mare Nostrum (地中海文化研究会研究報告) IV (1992年 3月) 所収
- 1993年 3月 "The conditions of happiness in the archaic age of Greece" IAS Symposium on The State of Happiness, Kyoto Century Hotel
- 1994年 5月 「古代ギリシアの面」 武庫川女子大学生生活美学研究所第34回研究会
- 1994年11月 「古代ギリシアの神と人間」 第67回名誉教授懇談会、於、御車会館
- 1998年11月 「古典ギリシア文学」 エリニカ20周年祝賀会、於、北浜三井ガーデンホテル

VII 書 評

- 1956年 3月 F.Prader, Schiller und Sophokles. Zürich 1956 「美学」 6-4
- 1957年 3月 D.Page, The Homeric Odyssey. Oxford 1955 「西洋古典学研究」 5
- 1958年 3月 W.Kullmann, Das Wirken der Götter in der Ilias. Untersuchungen zur Frage der Entstehung des homerischen 'Götterapparat'. Berlin 1956 「西洋古典学研究」 6
- 1963年 3月 R.Westman, Das Futurpartizip als Ausdrucksmittel bei Seneca. Helsinki 1961 「西洋古典学研究」 11
- 1964年 3月 E.Grümach, Bibliographie der Kretischen Epigraphik (nach dem Stande von 31. Dezember 1961). München und Berlin 1963 「西洋

古典学研究」12

- 1965年 3月 K.Reinhardt, Die Ilias und ihr Dichter. hrsg. von U.Hölscher.
Göttingen 1961 「西洋古典学研究」13
- 1965年 3月 G.S.Kirk, The Songs of Homer. Cambridge 1962 「西洋古典学研究」13
- 1967年 3月 G.Kurz, Darstellungsformen menschlicher Bewegung in der Ilias.
Heidelberg 1966 「西洋古典学研究」15
- 1967年 3月 藤縄謙三『ホメロスの世界』至誠堂新書 1965 「西洋古典学研究」15
- 1968年 3月 L.R.Palmer, J.Chadwick, edd., Cambridge Colloquium on Mycenaean Studies. Cambridge 1966 「西洋古典学研究」16
- 1968年 3月 E.A.S.Butterworth, Some Traces of the Pre-Olympian World in Greek Literature and Myth. Berlin 1966 「西洋古典学研究」16
- 1969年 3月 A.Bartoněk, ed., Studia Mycenaea, Proceedings of the Mycenaean Symposium Brno April 1966. Universita J.E.Purkyně 「西洋古典学研究」17
- 1969年 3月 E.Grümach, Bibliographie der Kretisch-mykenischen Epigraphik, Supplement I (1962-65). München 1967 「西洋古典学研究」17
- 1970年 3月 J.A.Davison, From Archilochus to Pindar. Papers on Greek Literature of the Archaic Period. London 1968 「西洋古典学研究」18
- 1971年 3月 B.Fenik, Typical Battle Scenes in the Iliad. Studies in the Narrative Techniques of Homeric Battle Description. Wiesbaden 1968 「西洋古典学研究」19
- 1972年 3月 D.Lohmann, Die Komposition der Reden in der Ilias. Berlin 1970 「西洋古典学研究」20
- 1972年 3月 藤縄謙三『ギリシア神話の世界観』新潮社 1971 「西洋古典学研究」20
- 1975年 3月 W.Nicolai, Kleine und große Darstellungseinheiten in der Ilias. Heidelberg 1973 「西洋古典学研究」23
- 1979年 3月 W.Schadewaldt, Der Aufbau der Ilias. Strukturen und Konzeptionen. Frankfurt a. M. 1973 「西洋古典学研究」27
- 1983年 3月 A.Thil, ALTER AB ILLO. Recherches sur l'imitation dans la

poésie personnelle à l'époque augustéenne. Paris 1979 「西洋古典学研究」 31

1984年 3月 Th.Berres, Die Entstehung der Aeneis. Wiesbaden 1982 「西洋古典学研究」 32

1992年 3月 A.Schmitt, Selbständigkeit und Abhängigkeit menschlichen Handelns bei Homer. Hermeneutische Untersuchungen zur Psychologie Homers. Stuttgart 1990 「西洋古典学研究」 40